

平成 28 年 10 月 13 日

森林部門技術士会 会員各位

森林部門技術士会 会長 根橋達三

森林部門技術士会 研究例会（林産部会）の開催について（ご案内）

昨今、土木分野における木材利用の復活や技術開発に注目が寄せられており、2010年に施行された公共建築物等木材利用促進法の第18条においても、木材の土木利用の拡大について記されるとともに、ガードレール、高速道路の遮音壁及び公園の柵が具体的な利用例として挙げられています。

また、学術分野においても、日本森林学会、日本木材学会、土木学会が2007年に「土木における木材の利用拡大に関する横断的研究会」を立ち上げて様々な取り組みを開始し、2013年には提言「土木分野における木材利用の拡大へ向けて」をとりまとめ、国土交通省技監や林野庁長官に直接手渡し、受理されています。さらに、土木学会では調査研究部門に新たに木材工学委員会を設置し、各種調査活動を展開しているところです。

そこで、今回は土木学会 木材工学委員会の「道路付帯構造物に関する研究小委員会」において委員長を務められた森林総合研究所の加藤英雄氏を講師としてお招きし、土木分野とりわけ道路関連施設への木材利用についてご講演をいただきます。

本会会員以外の方々も含め、多くのご参加をお待ちしております。

- 1 日時：平成 28 年 11 月 25 日（金）15:00～17:00（受付開始 14:40）
- 2 場所：日林協会館（東京都千代田区六番町 7）4 F 中会議室
- 3 講演 演題：「木製道路施設の現状と可能性」
講師：国立研究開発法人 森林総合研究所 木材研究部門 構造利用研究領域
材料接合研究室 主任研究員 加藤 英雄 氏
- 4 参加費：無料（会員以外の参加も歓迎します）
- 5 CPD：森林分野（JAFEE）2 CPD、日本技術士会 2 CPD の対象となります。
- 6 参加申込：森林部門技術士会 事務局（担当：阿黒）まで、メールでお願いします。
事務局 E-mail：shin-gi@forest-pro.jp（Tel：03-6737-1231）
- 7 会場へのアクセス：会場となる日林協会館内にある日本森林技術協会の関連サイト（下記）を参考にしてください。

http://www.jafta.or.jp/contents/gaiyo_chizu/1_list_detail.html

以上